

AM-808G

固定局用コンプレッサーマイクロホン
(無変調防止回路内蔵)
取扱説明書

★★★特 長★★★

- 2台の無線機をワンタッチで切替可能
2台の無線機を、スライドスイッチで切換えられます。
- 高性能単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホンユニット採用
マイクロホンユニットには、高性能単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホンを使用していますので、周囲の雑音に対して充分抑制効果が得られます。
- 高性能コンプレッサーアンプ内蔵 (LOW・HIGH 2段切替式)
音声入力レベルの変化に関係なく出力レベルが一定していて、常にひずみのない適度な出力レベルで送信できます。
- FM/SSB音質切替スイッチ付
FM時にはスッキリした市のある豊かな音量で、SSB時にはメリハリの効いた了解度の良い音声で運用できます。
- 無変調防止回路内蔵
送信状態が2～3分間続けばアラーム回路が作動し、警報音が約30秒間鳴った後、自動的に受信状態に戻ります。
- シーソー式電子スイッチの採用 (送信インジケータ付)
シーソースイッチの採用によりタッチが軽く、送受信切替時の不快な音がありません。
- バッテリーチェック回路内蔵
電源をON (FMまたはSSBの位置) にしてから約2～3秒間は、レベルメーターは電源電圧を示し、電池の交換時期または外部電源の有無を知らせます。
- 電源供給型マイク変換コード対応
乾電池 (単3形) または無線機 (マイクコネクター) のどちらでも電源供給が可能。
※無線機のマイクロホン端子から、マイクに電源を供給している無線機にご使用の場合は、電源供給型マイク変換コード“Dシリーズ”(弊社製別売) で接続すると、無線機から電源を供給することができますので、乾電池は不要です。

★★★仕 様★★★

- マイクロホン.....高性能単一指向性FET内蔵広域型
エレクトレットコンデンサーマイクロホン 1個
- IC.....2個
- トランジスタ.....20個
- ダイオード.....13個
- コンプレッサーレベル.....HIGH: 45dB LOW: 35dB
- 出力電圧.....COMP: 0~30mV (RMS) MANUAL: 0~70mV (RMS)
- 適合出力インピーダンス.....500Ω~100kΩ
- 電源電圧.....乾電池にて供給の場合・DC3V (単3形乾電池2本)
マイク変換コードにて供給の場合.....DC5~9V
- 消費電流.....受信時: 約3mA 送信時: 約6mA
- アラーム音.....約4.5kHzの断続警報音
- 外形寸法.....185(W)×115(D)×30(H)mm (突起部含まず)
- 重量.....約750g

ADONIS 株式会社 **アドニス電機**

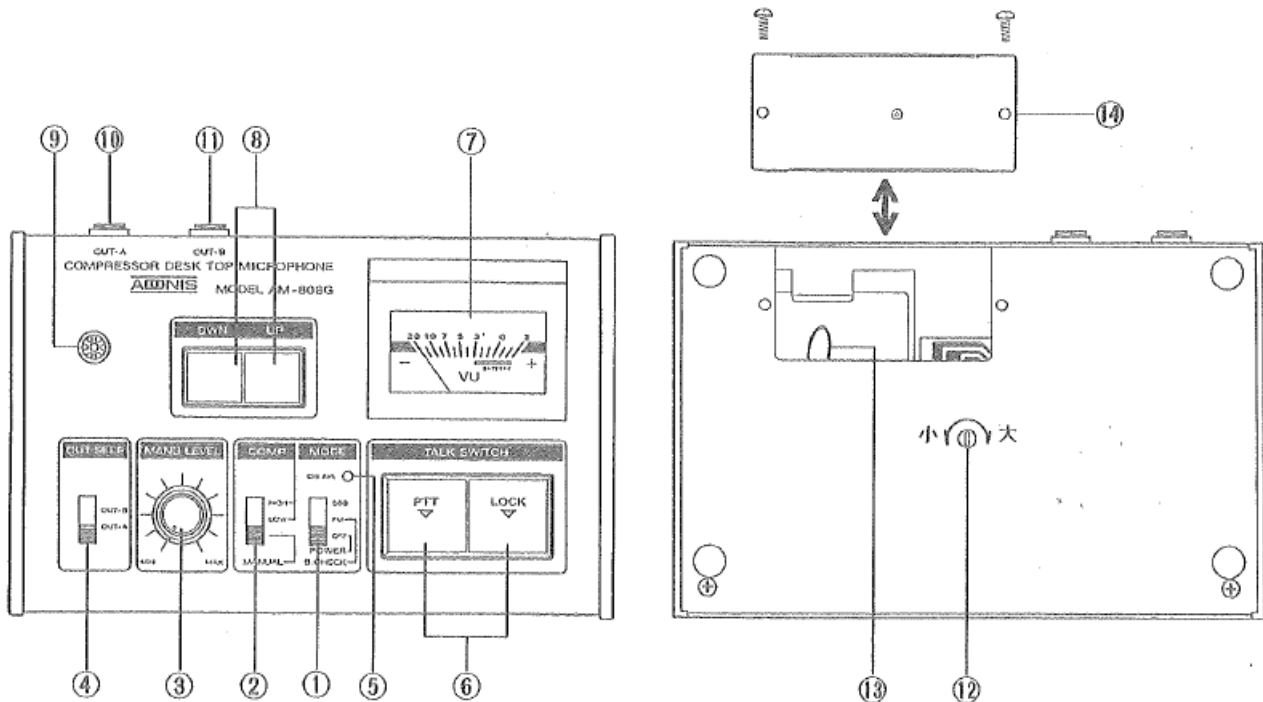
本 社 〒576 大阪府交野市星田北1丁目38番15号
T E L (0720) 93-3111 (代表)

東京営業所 〒101 東京都千代田区神田平河町2番地
大興ビル5F
T E L (03) 3866-8761

このたびは、アドニス電機の固定局用コンプレッサーマイクロホンAM-808Gをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用に際しましては、本機の性能を十分発揮させていただく為この取扱説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は、保証書と共用になりますので、お読みになった後も大切に保管してください。

◎各部の名称と操作方法



①電源及びFM/SSB音質切換スイッチ

電源スイッチ①をON (FMまたはSSBの位置) にすると電源が入り瞬時にレベルメーター⑦が電源電圧チェッカーとして動作します。しばらくすると、メーターの指針は、通常のレベルメーターとして動作します。

FM運用時には周波数特性の巾の広いスッキリした音声で、またSSB運用時にはメリハリの効いた了解度のよい周波数特性となり、特にDX時においてその効果を発揮します。

〔電源電圧のチェック方法〕

電源スイッチ①をONにすると同時に、レベルメーター⑦の指針が2～3秒間振れたまま停止します。その位置が緑の範囲内であれば使用可能電源電圧です。

乾電池でご使用の場合、指針が緑の範囲よりも左側の時は、新しい電池と交換してください。

②コンプレッサーレベル切換スイッチ

- HIGH (45dB) 小さな声でも大きな声でも、ほぼ同じレベルで運用できます。〔この時は、バックノイズ (TVの音声、ファンモーター等) も同時に入りますのでご注意ください。〕
- LOW (35dB) 普通のQSOに使用してください。マイクロホンから10cmぐらい離れていても充分な音量でQSOが可能です。
- MANUAL バックノイズが特にひどい時とか、コンプレッサーを使用したくない場合にこの位置にセットして使用してください。この場合、レベルボリューム③が動作します。

③レベルボリューム

コンプレッサー切換スイッチ②をMANUALの位置にした時に動作します。(MANUALの位置以外では動作しません。)

最適な入力 (レベルメーター⑦の振れが0dBを超えない程度) になるように調整してください。

④出力切換スイッチ

このスイッチにより、OUT-A⑩とOUT-B⑪の切換えができます。

⑤ON AIRインジケーター (送信表示LED)

電源スイッチ①をONにすると、LED⑤が点滅し受信状態になります。

また、送信状態になると、LED⑤は連続点灯します。

⑥TALKスイッチ

●PTTスイッチ

スイッチを押した瞬間にビツという音が出て送信状態になります。離すと受信状態に戻ります。

ショートQSO時に使用すると便利です。

また、LOCK (連続送信状態) を解除したい時に使用します。

●LOCKスイッチ

スイッチを押すと、ビーという音が出てON AIRインジケータ⑤が点灯し、離しても連続送信状態になります。PTTスイッチを押して離れた時に受信状態に戻ります。
ロングQSO時に使用すると便利です。

⑦レベルメーター

マイクアンプの動作状態を監視できます。MANUALでご使用の場合は、コンプレッサーは動作しませんので、最適な出力（メーターの指針が0 dBを超えない程度）になるように調整してご使用ください。
また、電源ON時の2～3秒間は電源電圧チェッカーとして動作します。

⑧UP/DWN(DOWN)スイッチ

ご使用の無線機のアップ/ダウンスイッチと同じ動作をします。くわしくは、無線機の取扱説明書をご覧ください。

⑨マイクロホン

S/N比を向上させるために、高性能単一指向性FET内蔵広域型エレクトレットコンデンサーマイクロホンを使用しています。

⑩マイク出力コネクタ（OUT-A）（8Pアドニス配列）

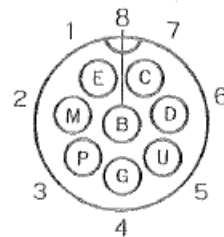
ご使用の無線機に適合したマイク変換コード（弊社製別売）で無線機に接続してください。
（マイク変換コードには、方向性がありますのでご確認の上間違わないように接続してください。）

⑪マイク出力コネクタ（OUT-B）（8Pアドニス配列）

ご使用の無線機に適合したマイク変換コード（弊社製別売）で無線機に接続してください。
（マイク変換コードには、方向性がありますのでご確認の上間違わないように接続してください。）

●マイク出力コネクタ⑩⑪のピン接続 アドニス標準8P配列

E：アース（マイク信号用）…シールド
M：マイク信号……………黄
P：PTT（プレストーク）…赤
G：アース（PTT用）…………紫
U：UP（アップ）……………緑
D：DOWN（ダウン）…………白
C：U/Dコモン……………橙
B：DC給電（+極）…………灰



（ピン側から見た図）

出力切換スイッチ④で切替えている側の無線機のマイクロホン端子に、電源（DC5V～9V・20mA以上）を供給している無線機にご使用の場合は、電源供給型マイク変換コード“Dシリーズ”（弊社製別売）で接続すると、無線機から電源を供給することができますので、乾電池は不要です。

（詳しくは、弊社製マイク変換コードおよびご使用の無線機の取扱説明書をお読みください。）

⑫出力調整ボリューム

出力電圧の調整ボリュームです。出荷時には適正なレベルに調整してありますが、ご使用の無線機によって調整する必要がある場合は、底面の穴から3ヶ所のマイナスインプで注意深くゆっくりと回してください。左（反時計方向）に回すと出力は下がり、右（時計方向）に回すと出力は上がります。

この調整はコンプレッサーレベル切換スイッチ②をHIGHの状態で行ってください。

⑬無変調防止回路解除リード線

●無変調防止回路の解除の方法：無変調防止回路を解除する場合、電池ブタ⑭をはずし、リード線⑬（黄）を切断してください。

なお、無変調防止回路については、下記に記載してあります。

⑭電池ブタ

乾電池で運用する場合は、底面のネジ2本をはずし単3形乾電池2本を極性を間違わないように入れてください。

なお、乾電池は付属していませんので別にお買い求めください。

〔別売オプション〕

弊社製別売の外部電源アダプターPS-3（¥1,800）を使用すれば、外部電源（DC13.8V）で動作させることができます。この場合、PS-3の取扱説明書をよくお読みください。

●無変調防止回路について

LOCKスイッチが不用意に作動した場合、無変調状態が続き他局に迷惑がかかります。本機はこのような過失による無用の電波の発射を防止し、また通常の交信においても、送信状態が2～3分間続けばアラーム回路が作動し、警報音が約30秒間鳴った後、自動的に受信状態に戻ります。

〔タイマーリセット機能〕

LOCK（連続送信中）にもう一度LOCKスイッチを押すと、その時から再びタイマーのカウントを開始します。

アラームが鳴っている場合、アラームは止まります。

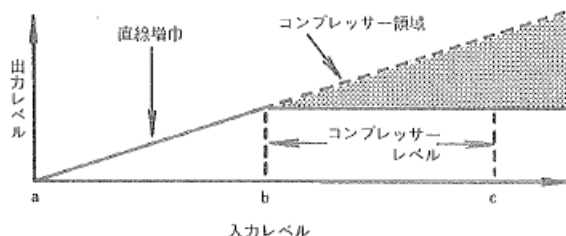
●無変調防止回路解除の方法

無変調防止回路を解除する場合は、電池ブタ⑭をはずし、リード線⑬（黄）を切断してください。

●コンプレッサーアンプについて

コンプレッサーアンプとは、音声入力レベルの変化に関係なく出力レベルが一定で、さらにひずみのない装置をいいます。すなわち、入力の音の大きさによってボリュームコントロールを電気的に行っています。図で簡単に説明すると、aからbまでの入力レベルでは直線増巾し、bからcまでの入力レベルではコンプレッサーがかかります。コンプレッサーレベルはbの入力レベルとcの入力レベルとの電圧比をいいます。

AM-808Gでは、極めて巧妙な回路を使用していますので、たとえばCOMP HIGHでは(45dB以上のコンプレッサーレベルをもって) ささやくような声も、破れるような大声も出力レベルがほとんど一定となります。出力レベルを一定にすることによりトクパワーを上げ無線機の定格出力を最大限に利用でき、通信距離を延ばすことができます。したがって無線機とマイクロホンの間には、コンプレッサーアンプの使用が常識となってきています。



ご注意及びお願い

- 弊社製以外のマイク変換コードを使用すると、正しく動作しない場合がありますので、必ず弊社製を使用してください。弊社製以外のマイク変換コードの使用によるトラブル、故障等については一切の責任は負いませんのでご了承ください。
- 外部電源アダプターは、必ずPS-3 (弊社製別売・¥1,800) をご使用ください。
- マイク変換コード“Dシリーズ”で電源を供給している場合は、乾電池が入っていても乾電池では動作しませんが、無線機の電源を切れば自動的に乾電池動作に切り替わりますのでご注意ください。
- アンテナのSWRが高い場合や接地が不完全な場合は、同軸ケーブルの引き回し等により回り込みの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- QSO終了時は、電源スイッチ①をOFFにしておいてください。
- 乾電池でご使用の場合、長時間(3ヶ月以上)使用されない場合は、本機から乾電池を取り出してください。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所での使用及び放置は、故障の原因になりますのでお避けください。
- 本体内部は調整されていますので、不要な改造・調整はしないでください。
- 性能改善のため、予告なく仕様及びデザイン等を変更することがあります。

【アフターサービスについて】

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などに伴い、ご不審な個所、または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買い上げいただきました販売店、または弊社に保証書を添えてお申しつけくださいますようお願い申し上げます。